

研究
テーマ

・プライベートアートとパブリックアート ・児童・生徒を対象とした絵画ワークショップによる美術概念伝達の実践研究

◆キーワード

絵画・映像インスタレーション表現
造形ワークショップ

◆産業界の相談に対応できる分野

絵画表現及び教育全般 造形ワークショップ

教育学部学校教育教員養成課程美術教育教室
准教授 片口 直樹

TEL 029-228-8253
FAX 029-228-8329
URL <http://www.kataguchi.blogspot.jp>
e-mail kataguchi@mx.ibaraki.ac.jp

一言
アピール

本研究は、芸術作品を公共空間で展示することにより、今日的な絵画表現の可能性を訴求します。また、社会・教育機関等において、絵画ワークショップの実践を行います。

研究概要

絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索しています。主に映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、時代を豊かなものにするための、豊かな心を養う術を大きなテーマとして研究しています。

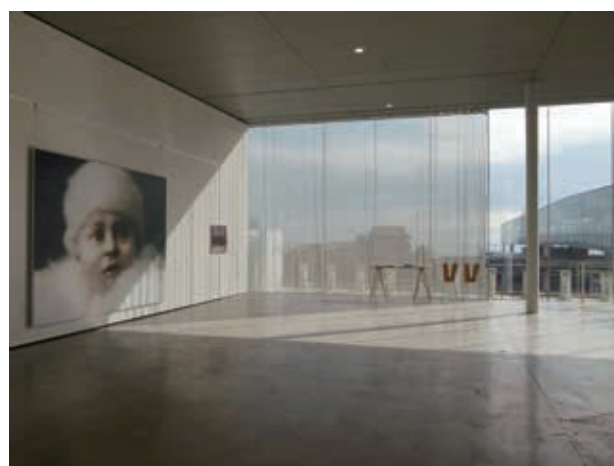
また、教育分野において上記の研究内容を根拠としたワークショップ活動により、美術概念の伝達に向けた実践も行っています。

筆者は将来の図工・美術教員を育成する立場にあることから、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要になると考えます。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが根底にあるテーマと言えるでしょう。

以上のような研究概要をもとに「絵画」の可能性を探る事を目的としています。

その他事例

絵画表現やワークショップ活動の他に、舞台美術への作品提供、美術館等での公開制作、シンポジウム参加、本の装幀等の実績があります。



作品発表「片口直樹展 Station」/日立駅情報交流プラザ/2013年



プロジェクト企画「レインボーミラクル forチャレンジ」/2014年

何に
使える?

芸術作品の社会へ向けた発信方法、または教育における絵画指導法等について、その意義を追及できます。